

高校・大学生が 電磁波を学ぶ

静岡文化芸大

高校生と大学生を対象とした科学のミニレクチャーとワークショップが十一日、浜松市中区の静岡文化芸術大図書館であった。写真。

学生に科学への興味を持ってもらうと、図書館の展示スペースに、電磁波に絡んだ発見・発明の歴史を紹介する約七げの横断幕を



設置。関連する図書五十冊を陳列した。今回のイベントはその関連で、浜松日体、浜松湖南、浜松南高校の生徒七人のほか、同大生や教員の計約三十人が参加した。

電磁波は波長の違いで電波や赤外線、エックス線などに変わる。生徒らは静岡大電子工学研究所の三村秀典所長ら専門家二人によるミニレクチャーを受け、電磁波の利用事例などを調べて紙にまとめ、横断幕に貼っていった。(飯田樹与)

2019.5.12

中日新聞 (朝刊) 11 ページ